

調査対象：本フォーラム参加者（300人）

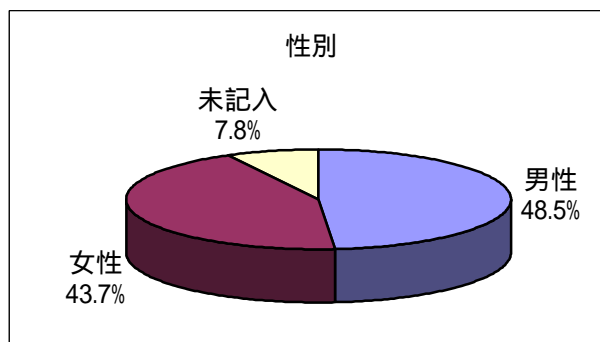
調査方法：シンポジウム終了後、会場にて回収

有効回答数：103件 回答率：34.3%

1. 参加者の属性について

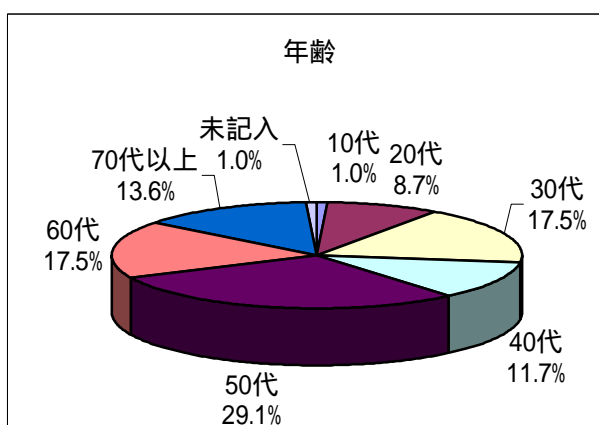
性別

	性別	人数	%
1	男性	50	48.5%
2	女性	45	43.7%
3	未記入	8	7.8%
	計	103	100.0%



年齢

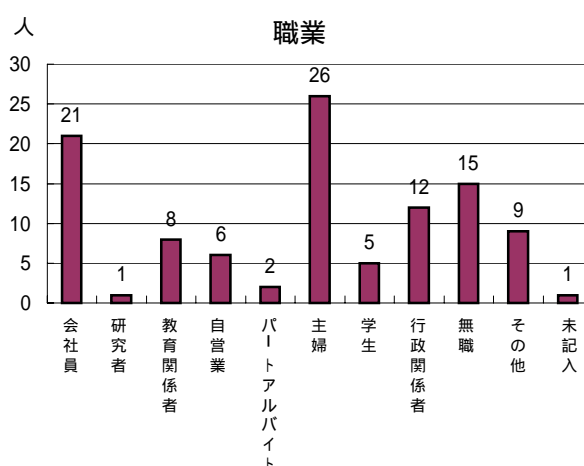
	回答	人数	%
1	10代	1	1.0%
2	20代	9	8.7%
3	30代	18	17.5%
4	40代	12	11.7%
5	50代	30	29.1%
6	60代	18	17.5%
7	70代以上	14	13.6%
8	未記入	1	1.0%
	計	103	100.0%



2. 参加者の属性について

職業

	回答	人数	%
1	会社員	21	19.8%
2	研究者	1	0.9%
3	教育関係者	8	7.5%
4	自営業	6	5.7%
5	パート、アルバイト	2	1.9%
6	主婦	26	24.5%
7	学生	5	4.7%
8	行政関係者	12	11.3%
9	無職	15	14.2%
10	その他	9	8.5%
11	未記入	1	0.9%
	計	106	100.0%

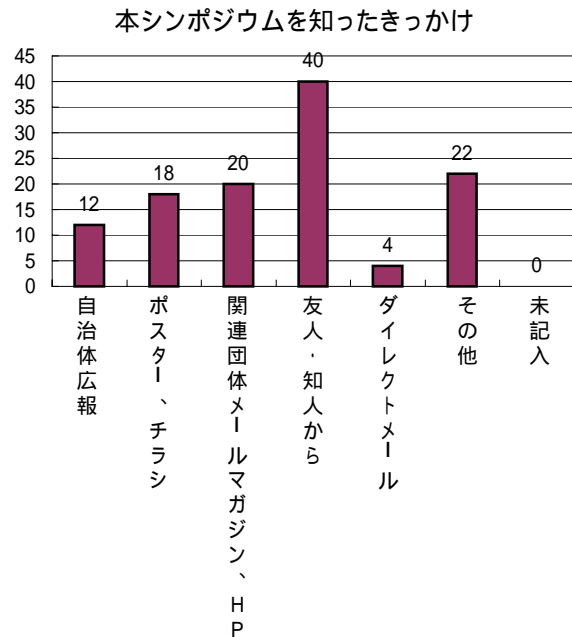


その他回答

その他	人数
川西市市議会議員	1
団体役員	1
保護司	3
年金生活	1
自由業	1
弁護士	1
公務員	1

3. 本シンポジウムを知ったきっかけについて、お答えください(複数回答可)

	回答	人数	%
1	自治体広報	12	10.3%
2	ポスター、チラシ	18	15.5%
3	関連団体メールマガジン、HP	20	17.2%
4	友人・知人から	40	34.5%
5	ダイレクトメール	4	3.4%
6	その他	22	19.0%
7	未記入	0	0.0%
	計	116	100.0%



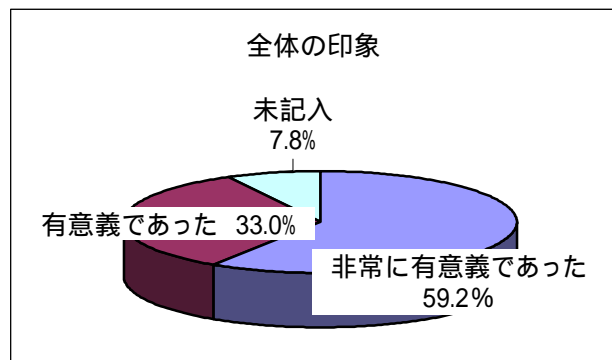
その他回答

その他	
父親から	1
メールのブログにて	1
町内回覧板	1
直接	1
新聞	5
TAVより	3
被害者スタマーク	1
親族	1
通知文	1
保護司会	1
テレビ	1
会員	1
保護観察所よりの案内	1
大学の講義で	1

3. 本シンポジウムについて

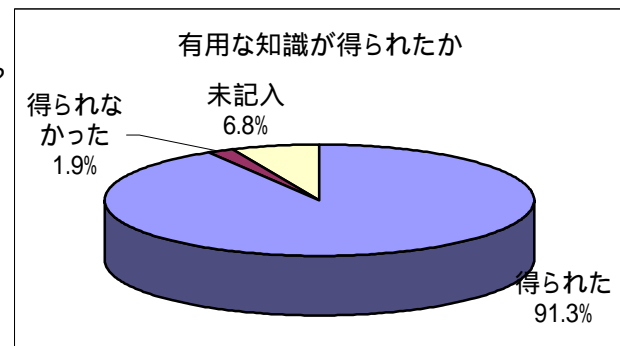
(1) 全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	61	59.2%
2	有意義であった	34	33.0%
3	あまり有意義ではなかった	0	0.0%
4	未記入	8	7.8%
	計	103	100.0%



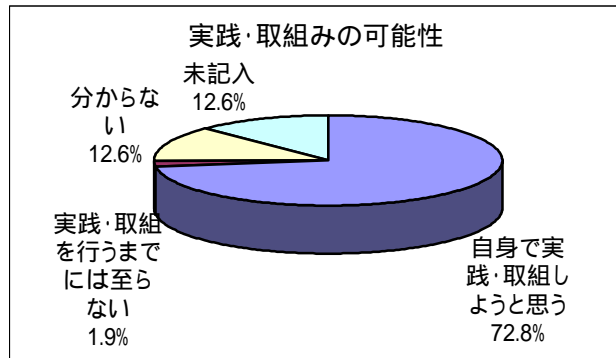
(2) 本フォーラムで有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	94	91.3%
2	得られなかった	2	1.9%
3	未記入	7	6.8%
	計	103	100.0%



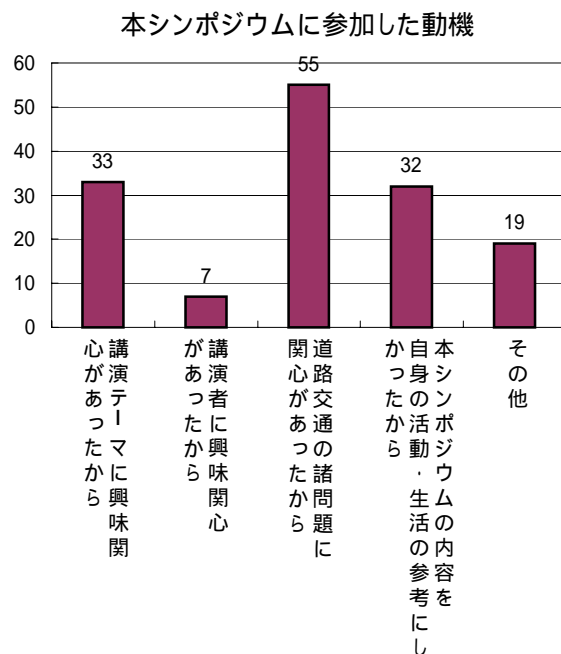
(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本公演で得られた知識を今後の生活で実践または取組みをしていますか？

	回答	人数	%
1	自身で実践・取組しようと思う	75	72.8%
2	実践・取組を行うまでには至らない	2	1.9%
3	分からない	13	12.6%
4	未記入	13	12.6%
	計	103	100.0%



本シンポジウムに参加した動機についてお答えください。(複数回答可)

	回答	人数	%
1	講演テーマに興味関心があったから	33	37.7%
2	講演者に興味関心があったから	7	22.6%
3	道路交通の諸問題に関心があったから	55	21.9%
4	本シンポジウムの内容を自身の活動・生活の参考にしたかったから	32	13.0%
5	その他	19	4.8%
	計	146	100.0%



その他回答

回答
<ul style="list-style-type: none"> ・一言(がんばって)言いたくて参加しました。 ・被害者の事を知りたい。 ・例えば駅にエレベータをという運動ですら9年かかった。自動車ばかりが強いばかりでなく、いたる所不備な大阪だ。 ・安全安心の通学路を市内でのとりくみとしており、その行いで豊中の集会に出席。事務局の森本さんからダイレクトメールをちょうだい。近くにいなから「知らなかった」功罪を思います。この日から川西市のとりくみスタートとなれるよう力をかけて下さい。 ・おかあさんがおはなしするから。 ・遺族だから(2名) ・被害者家族として ・被害者問題への関心 ・知人が関係者であり、いろいろ勉強しようと思った。 ・被害者の心情を保護観察にいかしたい

6. 道路交通の犠牲について

(1) 道路交通の犠牲の現状について、どう思いますか？

回答

- ・乱暴な運転をするドライバーが目につく。また、歩行者と車が非常に近い距離で道路を利用している場所も多く、危険に感じる。
- ・「死亡者減少」ばかり注目されがちだが、ゼロにならないと意味がないだろう。重度な方のことも忘れられがち。
- ・非常に残念。毎年1万人近く犠牲者がでていことに何の反応もしない社会に社会人として憤りを感じます。
- ・痛ましい。加害者があまりにも軽くさばかれる。
- ・車の為の道路のような感じをうける。
- ・最近のひき逃げはひどいと思う。
- ・交通事故は犠牲になった人だけでなく、遺族にも心のキズをおわせる
- ・皆様が気をつけていてもやはり暴走する人が多いので気をつけてほしいです。
- ・被害者ばかり写真、名前が表に出され、加害者は守られている気がします。
- ・運転者の教育強化
- ・交通事故死が多すぎる
- ・戦争による犠牲者に比べての数字におどろきです。
- ・いたましい事故が続き、悲しい思いで心が痛みます。
- ・私自身も4年前に交通事故で教え子を失い、その時の親御さんの様子は忘れることができない。何よりも違反等で命が奪われることが切ない。
- ・飲酒・携帯色々何故しっかり守れないのでしょうか。
- ・ドライバーにも責任があるが、道路が歩行者優先になっていない。交差点をはじめ交通安全対策が不十分である。人を最優先にするべき。
- ・改善されるべきだと思う。
- ・まだまだ交通事故が多いので、子供1人で自転車に乗せるのが怖い。
- ・悲しい限りです。
- ・ひどい現状は、関係者の一人として実感しています。
- ・その家族の苦しみ、悲しみを思うと、事故の恐ろしさを感じ、一層互いに認識を深めなければと思う。
- ・事故は減ってはないような身勝手な運転手が多い。
- ・なくなってほしい。
- ・戦争より多い被害者数であり、年々増加していることに対し、いきどおりを感じる。運転する人の不注意や交通違反が引き起こす交通事故を少しでも減らす運動をしないとイケないと感じた。
- ・遺族に対しての精神的な窓口がなく自身で病院に行くしかないの
- ・自身も普免取得し日々運転者の立場です。毎日、事故のニュースを耳にし、個々の身勝手な思いで人の人生をなくしているのは悲しいです。
- ・死亡者数については、毎年減少しているが、今後も減少し続けていけるか疑問である。高齢者ドライバー対策を考えないと今後死亡者が増加するのではないかと。
- ・特に酒の事故が多い。
- ・パネル、映像、遺族の方々のお話を聞き、自分のことのように胸が痛みました。病気になったわけではなく、残されたものは、心の整理がつかないのは、あたり前だと思います。「とびだし」でなく、ドライバーのひどい違反に憤りを感じます。
- ・交通死者数、重度障害ともあまりに多い
- ・車の速度、運転の無謀に目を奪われがちだったが、シンポジウムのおかげでヒューマンエラー、システムアプローチに目がむいた。
- ・運転手に、思いやり運転の意識が低い
- ・ドライバーのマナーどころか人間性が低下している為、歩行者がいくら気をつけても交通事故はなくなる。それどころか、殺人といえるような現状であると思う。
- ・車優先の社会をなくし人間主体(優先)の社会にしてほしい。
- ・道交法、又司法の甘さゆえ、再犯を重ねる悪質運転者が最終的に死亡事故をおこすと思う。
- ・10年くらい前から少しずつ減ってきてはいるようだが、まだまだ6000人前後の人が1年になくなっていることは痛ましい。
- ・ひどいという一言だが、いつ自分になるかと思うと。
- ・不可解、理不尽な事ばかり多くて、司法や社会システムが追いついていない。
- ・加害者の人権ばかりで被害者がおきざりにされてる。

回答

- ・飲酒運転など重大事故の加害者の刑事罰が軽すぎる。危険運転致死傷罪の適用が少なすぎる。もっと適用すべき。被害者の立場にたった判決を望む。
- ・犠牲になる理由がなく理不尽である。そのことを加害者や社会の理解が低いと思います。
- ・最近の事故は単純ではなく、悪質なものが多い。ルールを守っている人が被害者になっていることが多い。
- ・自分の周囲(家族やもちろん自分自身も含めて)などにおこらなければ、人ごのような無関心さ、また事故=しかたがないというあきらめ? 事故の犠牲について真剣に考える機会の少なさを思う。
- ・道路の標識をもっとわかりやすく。
- ・ドライバーのモラルの問題も大きいですが、道路や信号など構造上の問題も非常に大きい。交通事故。
- ・多いのにびっくりした。
- ・車は走る凶器。飲酒運転は殺人予備罪、事故をおこせば殺人。
- ・絶対許せない。
- ・交通死は人が人の生命を奪うという意味では殺人である。突然の死は大変な悲しみと取り返しのつかない深い心の傷を残すものと改めて感じた。また、一人の人間の人生を断ち切るという残酷なものである。
- ・非常に悪い。
- ・犠牲者を他人事のように感じている人が多く、自身の身近な事として考えて、本会の目的であるゼロに向かって協力していきたい
- ・ひき逃げ等、凶悪なものが増えている。
- ・現状では潜在的リスクが顕在化した事故が大部分をしめていると思う。
- ・今はどうすることもできない程、大きな問題となったが、それを実感しているのは関係した人だけである。
- ・徐々に減少しているが、われそれ及び国民の努力によって更に減少できると思う。
- ・いつまでたっても異常だと思う。
- ・交通事故、交通死亡者の加害者をゆるせないし強力に取り締まり、罰則を強化すべきだと思います。・赤信号でも走行する車が多い。取り締まりを強化すべきです。・単車のスピード違反、赤信号の走行が多い現状を警察は取り締まりを強化してほしいと思います。
- ・交通事故にあって、悲しむ人の思いを広くひろげていくことにより、共通の認識が必要
- ・多いし、これに対し行動していない自分が申し訳なくなりました。

(2)(1)に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・ドライバーの意識の向上と、システムの整備が必要だと思う。
- ・交通安全教育の見直しが必要。
- ・社会でおきていることにもっと関心をもってもらえるように個人、会社などから発信していくのが大切だと思います。他にもありますが、マスコミも参加していたので、マスコミがもっと大いに発信していくことも重要だと思います。
- ・車、道、人の歩くことの意味を教え、皆が改めて考えるべきだと思う。
- ・スピードの規制
- ・学校教育に取り入れるべき
- ・分けて、話を聞くのではなく、同じ席で話しあいができる状態を作ってほしいです。
- ・免許取得をきびしく。
- ・国民的運動が必要。
- ・スウェーデンの例を今井さんが紹介してくださり、日本もそれをうつしていくために何をすべきか。この道路事情で車は間違っています。車社会による優位な社会をやめスローライフのいき方のスタートではないでしょうか。
- ・vision zero運動を全国に広めていくことが必要であると思います。
- ・国民全体への意識改革が必要
- ・警察関係がもっときびしくあたってほしい。殺されたものは何もいえないのです。
- ・国～住民まで一体となって取り組み、組織が必要。
- ・1人1人の自覚。
- ・車の運転も本当に気を配り、安全運転しないといけないと思う。
- ・交通マナーを守り、人に優しい、人に思いやりのある社会を築いていきたいです。でも私が教習所で習った通りに運転していると、しょっちゅう後ろの車からクラクションを鳴らされます。
- ・啓発としての負担を考えながら提案者の考えが実現していくことを願う。
- ・車の運転には守らなければいけないことは守る。のんだらのるな。のるならのむなを守る。スピードはださない。きめられたことは守る。
- ・1人1人がしっかり命の大事さを考えるといい。ゆとりや、ゆずりあいの心を持つ。
- ・ハード面の整備。
- ・自治体と地域の人たちが協力し、話しあって、安全をめざす施策を考えていかないといけないと思う。具体的にどのような方法があるか？自分たちにできることからやっていくという意識で小さいことからでも取り組む必要がある。
- ・自治体などで、精神的なケアなどをしてほしい。
- ・誰でもいつ被害者、加害者の立場に立つかもしれないと思いながらハンドルを握り、適正ドライバーのテストを切り替えの時にいきなり、ボーダーライン点数の実施で更新の時期の設定を作っていくのはどうでしょう。
- ・高齢ドライバーの交通への不参加。特に認知症に対する診断の判断を厳格にする。高齢者が車に乗らなくても生活ができる交通環境整備、地域巡回バスを充実させる。
- ・もっと罪を重くする。
- ・もう一度初心に帰って勉強した方が良い。犠牲者は、辛いと思います。
- ・このようなシンポジウムを各地で行うこと。そして今日は話の中にあったシステム作りを行政の責任でさせていくこと。例えばアルコールが一定以上あったら発信できないという事を義務づけることなどで。分離信号の設置なども。
- ・ソフトカー、エアバッグ、歩車分離etcハード面での取り組みは極めて重要だと思う。
- ・法定速度ではしり隊が示唆に富んでいた
- ・運転免許取得者全員に年1回はこのような講演を聞かせ、被害者やその遺族の苦しみを感ぜてもらおう。
- ・とことん追求し言い続けるしかないのかな
- ・すべての車に(免許証がある様に)車のキーを一体化してよっぱらい運転をなくしてください。酒を飲んで車はゼツタイ動かない車を作る
- ・刑罰を強くすること。一生涯免許取り消し。
- ・本日聞かせていただいた運動(特に交通システムの変更、速度の制御)を続けていただく。法制を整備し、車検時にソフトカーシステムをつけることを強制する。・学校制度に取り入れる。
- ・犯罪者に厳罰
- ・自分自身も、出来るところからはじめたい。
- ・システムが大事だ。車にアルコール探知。無免許でのれない。スピードリミッター、GPSを使った速度制限ゾーン、歩行者と車が遭遇しないシステム、ドライブレコーダーの搭載をはかることです。

回答

- ・ 世論の盛り上げ、特に報道機関の役割が大きいと思います。ねばり強いアピール結末までフォローする。 被害者の団結
- ・ 悪質者には2度と車を運転させてはいけない。厳しい取り締まりを
- ・ 法改正すべき。司法の判断については過去の判例にとらわれることなく、判断願いたい。
- ・ 厳罰化はもちろんのこと安全教育・道路の整備、車の改良等総合的に対策をこじなければならないとおもいます。
- ・ ひき逃げの罪を飲酒の罪より重くしなければいけない。飲酒を危険運転と過失とわけないで、一本化にすべきだと思う。飲酒運転は自分で止められるから。
- ・ 難しいが学校の授業の中でそういう機会をつくるのは？多感な時期に考えてもらうのもよいのではないか。特に免許年齢(高校生16又は18)の方々に
- ・ 警察や交通安全協会のいかけんな事故防止はやめてください。
- ・ ルール関係の詳細を理解してもらおう。徐行の定義といった停止線の意義や速度制限の意義
- ・ 人の命優先の歩行者優先の交差点(分離)の実施スピード・自動車優先社会の見直し、車の売上状況が日本経済の指針になることへの疑問。事故を起こした車税の公表、スピードリミット装置の設置有無等。スピード優先の車の増加率につながらないためにも。
- ・ 国全体で取り組むべき。
- ・ 人の意識、交通システム、車社会のあり方を問い続けるしかない。「安全第一」「人命第一」の社会があり、ネットワークがあり、あたり前である。
- ・ 改革
- ・ 自覚をもって車を運転していくように教育していく。学校教育等で。
- ・ 人だけではなく、制度や環境そのものを変えることを考える。
- ・ 車両設計、道路設計等の環境の健全化、及び交通教育、マスメディア等による市民意識の変革、特に幼児、児童への初等教育が重要である。
- ・ モラルや法律等の力では、どうすることもできない。機械的な制御しか無理である。
- ・ 地域及び学校等において交通事故犠牲者遺族の声を聞かせればよい。又刑罰の更なる厳罰化も考える。
- ・ 法律改正も良いがマナーの向上が大事。被害者がもっと声をあげるべき。世論が現状を変えていく。特にマスコミが訴えること。
- ・ 交通取締りを強力に行う。・交通違反、交通事故に対する「罰則」を今の倍にする。・交通事故者に対して指導・教育を強力に行う。
- ・ 悲しみを経験してない人が経験してしまう前に伝えていただきたい。
- ・ 自分が運転する際は、事故をおこさない、おこさせない、速度を規制し、それを周囲や会社をまきこみやっていきたい

(3) 今後も同様な催しを開催した方がよいと思いますか？

回答

- ・ぜひ開催してください。(5名)
- ・毎年継続することに意味がある。
- ・はい、いいと思います。次回は企業やマスコミ、行政の関係者も招待して行えば、もっと広がっていくと思います。
- ・車社会に対して開催し、訴えるには運転マナーの大切さを訴えるべき。
- ・思います。(30名)
- ・もっと広めてほしいと思います。(2名)
- ・もっと多くの人にアピールしてはいかがでしょうか。テレビ、ラジオ等をお願いしてみても参加者を増やすのでは。
- ・続けてほしい。
- ・今後とも定期的にこのような催しを開催していただきたい。
- ・もちろんです。参加者の地元で、もちまわり開催をのぞみます。地元での活動が大切なことがその犠牲者にとっても。
- ・継続することが大切だと思います。
- ・今回のようなシンポが各地で開催され住民意識の高揚が大切だと思う。
- ・思う。もっと多くの人に知ってもらい、常に自分の身にもおこりうる危険とを感じる為。
- ・ぜひお願いします。毎年テーマを決めて、解説やパネルディスカッションをしてほしいです。例えば、信号システムについて、とか新しい車の開発について、とか警察と行政の取り組みについてとか。
- ・教育活動や警察の協力を要請し、もっと多くの人に啓発活動をすることが急務だと感じた。他人事ではなく、自分たちの問題としてとらえ、より一層、関心もてるような取り組み、政治家・教育者・自治体の関係者、警察にアピールをする催しを開催するようにするとよいと思う。
- ・道路環境のゼロシステムはお金がかかりすぎる。時間がかかりすぎる。今出来ることを続けながら人の意識改革をあげることで環境整備ができる時まで啓蒙し続けなければならない。
- ・良いと思います。続けてください。宜しくお願いします。
- ・発想、取り組みを知る機会なのでどんどん開催していただきたい。
- ・各地で開催を望む
- ・毎年開催して定着させるべき。更に発展させる事を期待します。
- ・した方がよい。少しでも多くの人に知ってもらう必要がある。
- ・もっと人々と語り合う事故防止のよびかけが必要です。
- ・マスメディアを利用し、大きく展開されたらよいと思います。全ての人が、被害者にも加害者にもなる可能性があります。
- ・私自身もやっていきたいし、今回のような有識者の話をきける機会はまたあってほしい
- ・交通事故の悲惨な状況(当事者遺族、傷害の後遺症等に苦しむ)を一人でも多くの人に知らせるためには必要なことと思う。事故などではなく殺人であることを認識するためにも。
- ・準備など大変だと思うが、ぜひとも継続してほしい。発信しなければネットワークは広がらない。
- ・業界、行政、研究等多方面との連携が必要である。
- ・年に一度は啓蒙のため是非やってほしい。
- ・今後も交通死0をめざしてのシンポジウムをどんどんやってほしいと思います。
- ・まだ知らない人や事故に対して軽く考えている人の為に開催してほしいです。

7. その他のご意見、ご感想について、下欄にご自由にお書き下さい

回答

・多くのご遺族にとって、この日までの苦難の道のりはどのようなものであったのだろうと想像します。この日からの道のりを考えたとき、自分にできることを探して実行していただきたいと思います。今日は本当にお疲れ様でした。

・交通「事故」という用語が一般的に使われているが、交通「犯罪」の言葉を使うよう心がけたい。

・被害者ではないのですが、道路交通死をなくすことは急務だと考えています。なすべきことは被害者でない人々に自分はどうか働きかけてゆける方法や仲間を作ることだと思います。取り組みなどに参加させていただきたいと思っております。

・加害者への厳しい指導

・みなさん今後も頑張ってください。

・皆様の気がいつの日かやすらぐ事がありますように祈ります。もう少しわかりやすい言葉での説明を聞きたかったです。話されている内容はわかるのですが頭の中にとどまらないですね。楽しくとはいいいませんが、子供にもわかる様をお願いします。

・法定速度をはるかに上回っている車は製造の必要がないと思います。海外の交通事情も知ることができてよかった。

・「交通事故死ゼロ」を推奨したい。

・ありがとうございました。手作りのおおきさ、おもいの深さを思います。昨夜もTVニュースに入っておりまして。こんなに多くの写真にもなっていない多くの犠牲者に思いをはせたらその方々のまわりの方々のことよせるエネルギーをうけとめたい。

・4年前のことが思い出されてつらかったが、あの子の笑顔も思い出し、いつまでも忘れないと思いが、再確認しました。ビジョンゼロがさらに進められることを期待します。

・トーンチャイムやギターの演奏や歌が映像と合わさって非常によかったです。

・私は交通事故にあいましたが、同乗していた子供2人も重傷を負いましたが、被害者であり、でも、運転していた私は加害者かもしれません。相手の方がなくなっているの。正面衝突でした。相手の方は77歳男性、センターラインをはみ出してきました。これから高齢化社会はますます進みます。できれば高齢者の方は免許証を返納してほしいです。私の場合も、77歳の男性がなぜはみ出したのかわかりません。北海道の牧場地帯の見通しのよい、停車車輛も歩行者もいない道なのに。この事故での私の過失は0%です。保険的に、訴追もされていません。でも、私は私がかかわった事故で、「遺族」と呼ばれる方々がうまれてしまったことが悲しくてつらくて悔しくて今もしんどいです。

・企業の社会的責任として、自動車メーカーや保険会社の問題が、あるのではないのでしょうか。どうしても、コストの論理で動いてしまうのが企業なので、社会的コストを負担させる方向にもっていく必要があると思います。今井先生のシステムアプローチのあり方など非常に有意義な話を聞かせてもらいました。・遺族の迫力ある話にも感動しました。

・誰もが被害者にはなりたくないと思うのは同じであるが、やはり自分自身も外へ出ている時は、きまりをしっかりと守り事故にあわないように注意したいと思う。車運転には前方確認スピードはださない。加害者にはならない。これらは十分まもりたいと思う。事故はゼロにはできないが、死亡重傷はゼロにできる。分離信号を実施するべしである。

・事故がおきない為、信号の研究をしている事を知った。自分の知らないところで色々やってるなと思います。ごいなと思いましたが、交通事故に関心があると思っていましたが、まだまだなので、しっかり交通安全に目を光らせ、自分だけではなく、自分のまわりの人にも関心をもつようにして事故の怖さを教えたいです。

・様々な活動をされている方々の話を拝聴し、大変勉強になった。交差点での事故や大型自動車による事故が多いとのことだったが、残念なことに事故がおきてからの改善ではなく、未然に防ぐ対策をしていかなければならないと感じた。そのためには、交通規制をしてもらえるよう市民活動も大切なことですし、大型車のドライバーへの啓発活動や幼稚園や小学校の教育機関への協力を得て、市民、教育機関、政治に携わる人たち、みんなの連携をもって、交通事故死ゼロをめざす活動を行い私も微力ながらやっていきたいと痛感した。

・上記にも書きましたが、親であろうと子供であろうと、突然家族を失うという精神的ダメージの大きさを別に他人にも理解してほしいとは思わないのですが、そのケアを何かしていただける様なものがあれば、又自分自身でも何かできないかと思うがその様な情報が少ない。

・高齢化社会、経済効率優先社会での交通では、社会全体で安全文化の重要性について教育・運動(活動)を続けること個人も学校も会社も行政もベクトルを安全にそろえていかないと困難だと思います。

・今日はシンポジウム参加させていただきましたありがとうございました。毎年、続けてください。宜しくお祈りします。交通事故ゼロをめざしていきましょう。

回答

- ・今日はありがとうございました。参加できて、本当によかったと思っています。かなり準備が大変だったと思いますが、何とか「交通死0」という思いが伝わり、思いが共有できてよかったと思いました。
- ・16年にわたる長谷さんのご活動、渡辺さんのお人柄が表れている市民連絡会の運動に勇気づけられました。
- ・車の加害者に対して(無免許)ではぜったい車に乗れないようにする。今の制度では何回もくりかえしくりかえし事故を起こすのです。
- ・被害者が声をあげなければなかなか動いてくれない
- ・ありがとうございました。このようなシンポジウムは定期的に行ってほしいです。
- ・取り組みとして厳罰化、総合学習の時間での「安全教育」、自転車の免許制、道路、交差点の見直し、分離信号の設置増加、法改正。全車に速度制限のシステムをつけ、電柱にさらに強制的に速度制御できるようなことはできますか？その他精神的ケアの充実。ドライバーへの安全教育。もっと大勢の人に知ってもらいたい。主旨を曲げない程度に人が集まりやすい少々重みをとったイベントができないものか。これらを取り組むのはかっこいいことだという認識から門戸を広げ、その後、深く関わらせていけないかな？
- ・かなり難しい内容。交通事故はなくなったらいい。まず自分自身が気をつけたい。かなり自転車、歩行者のマナーもみだれている。
- ・どんどんこのような催しを開催して、市民に訴えていくことが良い。
- ・素晴らしい会でした。ご苦労様です。多くの方が参加され、用意された皆様のご苦労は大変だったと思います。特に、黄色のジャンパーをつけた、ボランティアの方、若い人たちが多く、この活動が広く共感を生み、広がっていくと感じました。理不尽になくなる人たちをなくすため、できることをしていきたいです。
- ・ちょっと話が長すぎる。もう少し簡潔に。
- ・加害者に厳罰を。犯罪の再犯者は更生できない者が多すぎる。(更生できない)刑務所入所者の衣食住を税金でまかっていることをもっと広く国民に知らせるべき。交通事故をなくす取り組みがいろいろなかたちで行われていることについてありがたいことである。しかしながら現実的にはこの考えが浸透するにはまだまだ時間がかかることもわかった。国をあげて真剣に取り組まなければならない。
- ・遺族の方の苦しみや悲しみについて学校や職場でもっと取り組む必要がある。小学校の時から交通ルールや人のあり方について考えさせなければならないと思う。
- ・交通事故の被害者は、死亡しても加害者は死刑にならない。それはおかしい。車を使った殺人なのに。その事をもっとわかってほしい。そうすれば、事故も少なくなるはず。
- ・遺族の方の声を聞ける機会を得てよかった。
- ・全国の鉄道の列車電車があるのに又、公共の市バスがあるのに、会社へのマイカー通勤、車でのマイカーレジャーを私はぜったいにやめてほしいと思います。又、鉄道があるのに長距離の観光バスも減らしたいです。以上の交通は人間勝手の贅沢です。人間勝手の交通利用は私はやめてほしいです。
- ・産業優先の車社会が、現在の状況を招いているとおもいます。渋滞がそんなにいけないことなのでしょうか。時間がかかるということを考えて上での生活をしていけばいいと思います。急がない社会、時間をお金に換算することをやめなければいけないでしょう。このような活動はやはり被害者関係者の方を中心に行われていますが、加害者側も、被害者に及ぶべくものではないでしょうか。リスクを背負ったわけで、そちら側からの参加をよびかけることはできないのでしょうか。又、自動車会社、損害保険会社にも、参加していただければよいと思います。人の命を大切にす国になってほしいものです。
- ・外国の人にも、つまりは万人にわかるようなシステム(ピクトグラムの利用)もあればいいと思います。
- ・車の運行管理者の受験講習等でPRされたらどうか・現在薬物乱用防止については、1時間程度いれてもらっている。・子供の非行は親の無関心とよく言われますが、近くの不安全箇所親たちが感心を持つような環境作りが大切だと思います。(事前に予防を考えたい)・学校の通学路で危険な目にあった(ハット、ヒヤリ)を生徒や父兄にだしてもらい数多いところを行政に相談し、事前に事故防止が大切だと思う。
- ・このシンポジウムは13:30~16:30となっていました。コーディネータは17時と勘違いされていたのでは？時間オーバーに対し、一言の謝罪もありませんでした。16:30終了の予定できていたので残念です。
- ・ごろうさまでした。
- ・道路交通の犠牲者に「子供」がたくさんいます。生命をおびやかされている「子供」たちの声や現状を明らかにしていくことも必要ではないかと思ひます。一刻も早く交通死ゼロの日が実現していくことをめざしていきたいと思ひます。

回答

・大切な家族を失った方々の言葉をじかに聞く機会をもつことができとても貴重な経験でした。幸いにも私にはそんな経験がなく、普段生活をしている中で車を運転したり、歩道を渡ることもなんでもないような事だと思っていたのですが、いつ自分に訪れるかわからないのだと感じたくさんの気づきを頂きました。どうもありがとうございました。

・速度規制という観念だけでなく分離という新たな考えを知りました。ありがとうございました。

・初めてこのような会に参加しました。皆さんの熱い思い等、色々と感じました。しかしTAVの皆さんの思いを実現するためには、あまりにも社会のシステム(特に警察)とのギャップが大きすぎると思います。警察組織には何も響いていないのではないのでしょうか。(警察官個人は別ですが)がんばって下さい。

・弁護士会としても、もう少し交通事故犠牲者の権利の救済に努めていくべきと考える。

・大阪市・府の自動車の最高速度を40kmにすると交通事故・死亡率は大幅に少なくなると思います。・住宅地域のスピード速度(最高速度)を10kmにする。・住宅地域内の自動車侵入禁止地域と人専用道路を増す。商店街、住宅地域の自動車侵入禁止時間を延長する。以上住民・市民中心の交通政策法規を早急につくるべきだと思います。又警察も強力な取締りを行い、安全・安心の町・生活を作ってほしいと思います。

・ご活躍を期待しています。

・交通死を体験してしまった方達のお話を聞き、事故死のひさんさ、けっして消える事ない悲しみ、いかりを少しでも知り、自分・家族から交通犯罪をおこさない、起こさせないように行動していきたい。分離信号やソフトカー色々な対策に対して自分らの意識をかえていきたい。